

# 財団通信

発行所  
〒832-0814  
福岡県柳川市三橋町垂見18-2  
公益財団法人 生涯学習振興財団  
TEL 0944-72-5452  
FAX 0944-72-1803  
発行人 理事長：沖永佳史  
編集人 事務局長：井上正明

## 主催者あいさつ



公益財団法人 生涯学習振興財団  
理事長 沖永佳史

将来の夢や人生の目標、また社会の問題や関心事などについて、語る言葉でなく、文字に綴り出して欲しい。そこにあるのは自分の未来を描き、自分自身を見つめる時間に他ならない。「今こそ大志を語れ」をテーマに当財団の初代理事長で帝京大学前学主・沖永荘一博士が提唱した、この小論文コンクールは22年目を迎えました。参加した高校生の総数は約1万1千3百人を数え、改めて継続の力を噛みしめております。

今回はコロナ禍で学校臨時休業による対面授業不足、カリキュラム遅延など教育現場の日常が大きく揺るがされ、作品応募に注ぐ時間がないの

ではないかと危惧しておりましたが、参加学校数では過去最高の278校となり、浸透するネット社会の恩恵を受け、北海道から沖縄まで遠く海外からも応募がありました。いずれも未来を切り拓く高校生たちの熱いエネルギーが寄せられていました。ときには描く夢も微調整やマイナーチェンジもあるでしょう。高校生の皆さんが個性を最大限に生かす自分らしさに磨きをかけ、当コンクールの作品応募が自分流の未来をつかみとるための出発点、夢の原点になることを願って止みません。当財団は今後も高校生たちの夢を応援し続けてまいります。最後にになりましたが、応募した高校生の皆さんへの感謝とともに、作品応募に指導された先生方、また1万点以上の作品を一次から最終審査までご協力いただいた先生、審査委員の皆様深く感謝申し上げます。

## 第22回高校生小論文コンクール

「今こそ大志を語れ」をテーマにした高校生小論文コンクールでは、個人部門とグループ部門で、自分の未来や人生の夢、目標という身近なことから、福祉、教育問題、環境問題などの社会的な提言に至るまで、ジャンルを問わず、文章で綴る作品を募集しました。結果は左記の通りです。

### 沖永荘一博士記念大賞（最優秀賞）

「生き方の選択肢を増やす」

学校法人桜美林学園  
桜美林高等学校 2年  
山本彩佳 さん

### 優秀賞

「誰のものでもない！私のものでもある」

福岡県立修猷館高等学校 1年  
宇野由里子 さん

### 読売新聞西部本社賞

「性の多様性が広がった社会を目指して」

岡山県立岡山操山高等学校 3年  
來住果林 さん

### 優秀賞

「地域の伝統文化に迫る！！」吉原神楽の歴史と未来」

熊本県立小国高等学校 2年  
松崎彩華 さん 坂本咲希 さん

### 読売新聞西部本社賞

「障がい者の安全な避難」福祉避難所の需要」

学校法人桜美林学園 桜美林高等学校 2年  
秋本 茜 さん 落合 帆奈 さん  
田中介進 さん 山田 南波 さん

### 優秀学校賞

大変な熱意を持って継続的に参加された学校

- ◎ 福岡県立 ありあけ新世高等学校
- ◎ 宮崎県立 宮崎大宮高等学校
- ◎ 鹿児島県立 鶴丸高等学校

全国278校の高校からの応募と、一万一千人を越える応募から

この小論文コンクールは、基本テーマを「今こそ大志を語れ」として、沖永荘一前理事長の提唱である、「一人でも多くの現役高校生に、それぞれの夢を語っていただく」という趣旨ではじめられ、この度22回を迎えた。

コンクールは、個人部門とグループ部門に分けられ、自分の未来や人生の夢、目標という身近なことから、福祉、教育問題、環境問題等の社会的提言に至るまでジャンルを問わず、文章で綴る作品を募集している。

募集は10月末日に締め切られ、全国から一万一千人をこえる応募をいただいた。審査の結果は上記のとおりです。

審査は、11月に予備選審査を経た後、最終審査は12月6日に柳川市の御花で行われ、中沢紀子帝京大学文学部教授を委員長に、瀬上雄幸福岡県青少年科学館元館長、海老井悦子福岡県前副知事、森山良一福岡県教育委員会元教育長、松本邦明福岡県教育庁教育振興部高校教育課指導主事、添田恭正読売新聞西部本社生活文化部長の各委員の活発な討議のもとで行われ、各賞受賞者が選ばれた。

# 第22回高校生小論コンクール受賞者

## 個人部門

### 優良賞

カンボジアからハワイへ、ハワイから世界へ  
USA Kani High School 11学年

### 池谷 麻菜

5代目行天農場の法人化へ向けた2つのプラン  
北海道俱知安農業高等学校 2年

### 行天 勇祐

大切な志を持って世界へ  
学校法人青山学院 青山学院高等部 2年

### 蘆田 開

私にできることをするために  
学校法人旭進学園 宮崎第一高等学校 2年

### 富田 麻里耶

大志への「覚悟」  
鹿児島県立鶴丸高等学校 3年

### 山角 保乃華

### 奨励賞

私の将来の夢  
市立札幌旭丘高等学校 2年  
中原飛鳥

「運動環境格差ゼロ」を目指して  
秋田県立秋田高等学校 3年  
菊池 翔

支えになりたい  
茨城県立水戸第二高等学校 1年  
岡田百葉

夢のきっかけ  
学校法人冲永学園帝京八王子高等学校 2年  
片桐将人

挫折が教えてくれたこと  
学校法人立命館立命館守山高等学校 3年  
島麻理奈

あの日の約束を胸に  
独立行政法人 国立高等専門学校機構九州工業高等専門学校 2年  
長崎 麗

人生をどう生きるか

福岡県立朝倉高等学校 2年 池田真矢

私は私  
福岡県立ありあけ新世高等学校 定時制1年 古野彩葉

世の為・人の為に起業すること  
福岡県立修猷館高等学校 2年 国谷翔太

書道家になる！  
福岡県立筑紫丘高等学校 1年 井上千鶴

福岡県立筑紫丘高等学校 1年 井上千鶴

To space with my robot  
福岡県立筑紫丘高等学校 1年 永岡怜穂

小さな体に大きな野望  
福岡県立明善高等学校 1年 平戸すみれ

福岡県立明善高等学校 1年 平戸すみれ

貧困問題解決への支援と私の大志  
福岡県立明善高等学校 3年 鳥巢美和

建築界の先駆者  
福岡県立明善高等学校 3年 鳥巢美和

忘れもしないあの言葉  
福岡県立延岡星雲高等学校 1年 下川楓翔

宮崎県立延岡星雲高等学校 1年 下川楓翔

私の夢  
宮崎県立宮崎大宮高等学校 1年 江藤心晴

命の格差を是正する  
宮崎県立宮崎大宮高等学校 1年 江藤心晴

十六歳の私の夢  
宮崎県立宮崎大宮高等学校 1年 渡邊紗生

宮崎県立宮崎大宮高等学校 1年 渡邊紗生

コロナウイルスと離島医療  
鹿児島県立鶴丸高等学校 3年 関 仁美

鹿児島県立鶴丸高等学校 3年 関 仁美

## グループ部門

### 優良賞

不平等社会への挑戦  
東京都立日比谷高等学校 2年

高橋 由希子 永井 悠太

龍野 実咲 中谷 悠馬

子ども食堂から、社会的弱者に対する  
支援について考える

徳島県立城北高等学校 2年

上野 優芽 佐野 琴美 矢野 萌花

増岡 美早紀 中村 こむぎ

## 学校部門

### 学校賞

前年に引き続き全体的に継続的かつ積極的に取り組まれている学校。及び、新規挑戦された学校。

茨城県 学校法人常総学院 常総学院高等学校

広島県立広島国泰寺高等学校 北九州工業高等専門学校

独立行政法人国立高等専門学校機構 北九州工業高等専門学校

福岡県立朝倉高等学校

福岡県立朝倉東高等学校

福岡県立浮羽工業高等学校

福岡県立宇美商業高等学校

福岡県立小郡高等学校

福岡県立輝翔館中等教育学校

福岡県立久留米高等学校

福岡県 学校法人不知火学園 誠修高等学校

福岡県立筑紫高等学校

福岡県立伝習館高等学校

福岡県立柏陵高等学校

福岡県立福島高等学校

福岡県立三池高等学校

福岡県立三池工業高等学校

福岡県立三池工業高等学校

福岡県立三井高等学校

福岡県立明善高等学校

福岡県立山門高等学校

福岡県立八女高等学校

福岡県立八女工業高等学校

長崎県立長崎南高等学校

熊本県 学校法人有明学園 有明高等学校

大分県 学校法人岩田学園 岩田高等学校

大分県 学校法人平松学園 大分東明高等学校

(敬称略・順不同)

# 受賞して思いつく

桜美林高等学校 二年

山本彩佳さん

この度は「沖永荘一博士記念大賞」という名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。

高校生になり、自分の進路について考える機会が増えてきました。将来の自分の姿を考えるとどうしても自分の持病と向き合う必要があり、できる事に制限がある自分に何が出来るのだろうかと思う事が多くありました。そんなとき、ALSの事件を知り、とても虚しい気持ちに襲われました。同時に、病気を抱えた人も生きがいを持つて生活を送れないかと思えるようになり、その中で自分の将来の方向性を見つけました。珍しい難病を背負って生まれたことに意味があると思えるような生き方をしたいと思っています。このコンクールに参加することで、自分自身と向き合い、将来を深く考える時間を持つことができました。

このような機会を与えた下さったコンクールの関係者の皆様に深く感謝いたします。



福岡県立ありあけ新世高等学校

校長 葉玉千賀子

このたびは昨年度に続き「優秀学校賞」という栄誉を賜り、誠に光栄に存じます。本校は毎年教育活動の一環として、国語科を中心に貴コンクールに応募させていただいていますが、この全員でいただく賞は学校の連帯感にもつながり、大変貴重で学校あげて喜んでおります。ありがとうございます。

今年度は生徒たちも自分のことだったり世の中のことだったり、社会の一員としての自己のあるべき姿、とるべき行動等について考えることが多い年でした。頭に浮かんだ思いを文字にして文章化することで考えがより明確になったり、行動を後押しする自信につながったり、「書くこと」の実用性、重要性に気づいた生徒も多かったように感じます。

終わりに、ご関係の皆様方に深く感謝申し上げますとともに、貴財団の今後益々のご発展を祈念申し上げます。

鹿児島県立鶴丸高等学校

校長 月野 功

この度は貴コンクールにおきまして「優秀学校賞」の栄誉を賜り、誠に光栄に存じます。

本校では毎年、貴コンクールへの応募を前提とした作文課題を呼び掛けております。この応募を通して、生徒たちは「今こそ大志を語れ」に刺激されて、自身がありようを確かめ、社会を改めてまなざし、未来予想図を描こうとしています。このような機会を与えていただいていることをありがたく感じております。

創立一二六年を迎えた本校で、生徒たちは、自らの理想を実現させ、将来の社会建設に貢献せんと日々学んでいます。他者と学びあい、自らを成長させるのは表現技術を磨くことが必須です。今後大志を胸に秘め、日々新たに前進していく糧となる表現活動の場を作りたいと考えております。

終わりに、御関係の皆様方に深く感謝申し上げますとともに、貴財団の今後益々の御発展を祈念申し上げます。

宮崎県立宮崎大宮高等学校

校長 吉田 郷志

## これからを見つめる高校生のために

この度は、複数の生徒が「奨励賞」をいただくにとどまらず、価値ある「優秀学校賞」受賞の栄誉を賜り、深く感謝しております。

本校は、国のWWLコンソーシアム開発拠点校の指定を受けて国内外の高校や大学等との共同研究などに取り組んでおり、ともすれば生徒の活動は外部への情報発信に偏りがちですので、当コンクールの「今こそ大志を語れ」のテーマで小論文に取り組むことは、自分の内面を改めて見つめ直す絶好の機会となっております。彼らの小論文からは、目標大学・学部に向かつて勉強する以前に、何を以て社会に貢献したいか、そのために就くべき仕事は何か、どのような人生を送りたいかという視点に立てた喜びが、ひしひしと伝わってきます。多くの高校生にこのような機会をいただいている貴財団に感謝しますと共に、今後の益々のご発展をお祈りします。

## 審査にあたって



帝京大学文学部  
日本文化学科教授  
審査委員長  
中沢 紀子

コロナ禍の厳しい情勢の中、1万1千人を超す応募がありました。学校活動が制限された中でこの応募数は、小論文コンクールが全国的に広く知られていることを証明しているものだと思います。

審査にあたっては、論文構成力、表現能力、実際の活動等を総合的に評価しました。個人部門の『生き方の選択肢を増やす』は、論文展開、表現の多彩さのみならず、言葉一つ一つに気持ちが入められており、非常に心打たれる論文でした。グループ部門では、今年度の最優秀賞の該当論文はありませんでした。最終選考に残った論文は、問題設定の着眼点は秀逸なものばかりでしたが、具体的な活動やより踏み込んだ分析がなされていないケースが目立ちました。最後になりましたが、小論文コンクール開催にあたり、関係者の皆様より多大なるご尽力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

令和2年度  
第31回筑南ジュニア美術展

九州芸文館にて表彰式を行う

南筑後地区の園児・小・中学生までを対象とした筑南ジュニア美術展の作品展が10月18日より6日間開催された。

応募総数4,372点の作品より審査の結果255点の作品が入賞した。

10月18日(日)午前10時半より九州芸文館にて理事長賞受賞の32名の皆様の表彰式が行われ子どもたちに賞状や副賞などが授与された。

なお、理事長賞の作品は10月18日から23日まで九州芸文館に展示した後、財団会館内ホールに展示していますので参観ください。

(入賞者一覧は財団通信No.78号で既に発表しています)



学習講座

ゆめ夢クラブ

毎週土曜日、英会話、美術教室を行っています。

※ 詳細は財団事務局へ



英会話教室



美術教室

学習クラブ  
講座案内

おもなクラブは、書道、謡曲、グランドゴルフ、ちりめん布工芸等、実施しています。



グランドゴルフ



ちりめん布工芸